

第3回 『「西」と「東」の間を行き来するハンガリー』

ヨーロッパの中心に位置するハンガリーは、その言語、アイデンティティ、歴史的背景の点で、スラブ系やゲルマン系の周辺国とは大きく異なる。アジア系の背景を持つハンガリー王国が1000年に成立して以来、ハンガリー人のアイデンティティは「西」(＝ヨーロッパ)と「東」(＝アジア)を行き来する渡り船のように、安定した位置を持っていない。そこで、「西」との関係性を否定し、むしろ中央アジアやシベリアに住む諸民族(時には日本も含む)からなる想像上の共同体(＝「トゥラン民族」)に属すると考えたときもある。

この振り子のような動きはハンガリーの外交政策にも反映される。ハンガリーは現在欧州連合に加盟している一方、「西」よりもアジア諸国との関係を重視する「東方開放」政策を追求しており、アジア太平洋地域の安全保障秩序には間接的な影響を与える。他方、ハンガリー人であることが特定の民族的帰属性を示すのか、それとも多様な民族を包摂する**政治的に構築された共同体**を指すのかという疑問が生じる。この問いへの回答はハンガリーに限る問題ではなく、**エスニック・アイデンティティ**が脅かされている社会的条件を探求する社会文化研究にも大いに寄与する。



ライカイ・ジョンボル・ティボル

講師:RAJKAI ZSOMBOR TIBOR氏

立命館大学国際関係学部教授

専門は社会学、歴史学、言語学。東欧地域、中央アジア、東アジアを対象に、非西洋文化圏における社会変動や家族の変容を主要な研究テーマとしている。また、中央アジアと中国の歴史的関係についても精力的に研究を行っている。

日時

2025年1月18日(土) 13:00～15:00

※終了後、ご自由に立命館大学国際平和ミュージアムをご見学いただけます。

会場

立命館大学 衣笠キャンパス

平井嘉一郎記念図書館 カンファレンスルーム

※市バス立命館大学前下車 正門に入って徒歩3分、図書館入ってすぐ左です。



参加費: 無料(ただし資料代500円※除学生) 申込: 不要
問合せ先: 080-9079-7195 (事務局:桂良太郎)
WEB: GN21ネット(<http://www.gn21.net>)